

(様式 2)

女性就農環境改善計画

実施主体名	株式会社鳥越ネットワーク	
取組	(1) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保	
構成員数	22人 (うち、女性の人数: 13人)	(令和4年4月時点)

1 事業実施方針

福岡県田川郡は古くから炭鉱で栄えた地域です。弊社がある赤村は、その中心に位置しながらも炭鉱が存在しないため、古くから農業を主要産業とし、多くの炭鉱マンの食を支える存在として発展してきました。こうした背景のもと、現在も赤村には女性農業者が比較的多く存在していますが、高齢化や新たな担い手不足等により、従来のような女性が元気に活躍している姿を見る機会が少なくなってきました。こうした状況の中、弊社は1978年から有機・無農薬農業に取り組み、現在では、弊社を中心とした「有機栽培農家」や「減農薬農家」の大きなネットワークが存在し、生協関連や、東京・大阪の大手取引先への出荷体制を確立するなど、この地域には、従来の活気を取り戻すべく、鳥越ネットワークとして沢山の「農業のチカラ」が終結してきています。

また国内においても、脱炭素への取り組みが世界的に加速する中、農林水産省が2021年2月、化学肥料や農薬を使用しない有機農業の拡大に向け、2050年までに、有機農業を国内の農地の25%にあたる100万ヘクタールまで拡大する方針を出しました。また、「健康志向」や「食の安全・安心」への関心の高まり、東京オリンピックを契機とした「食」に対するさまざまなニーズが表面化し、有機野菜（オーガニック野菜）の市場がますます盛んになってきています。

弊社の取引先である生協組合においても、その大半を女性が占めており、暮らしにまつわる安心・安全の追求において、特に女性の関心が高いことが伺えます。

自社栽培の有機 JAS 認定のセロリは、2020 - 2021 年シーズンで 80 t 以上という国内でも有数の生産量を誇っており、また、自社の有機トマト約 10 個を使用した「有機完熟トマトケチャップ」が、令和 2 年度 福岡県 6 次化商品コンクール審査員特別賞を受賞されました。また、昨年末に、芸能人ご自身のインスタグラムで、お気に入り商品としてご紹介いただくなど、近年、有機ファン、無添加ファンの間で弊社商品の認知度が高くなってきています。



今後は、トマトケチャップに続く新たな加工品の開発が喫緊の課題となっており、簡単、便利で保存可能なセロリの加工品を希望する消費者の声も多く、現在、女性をターゲットにした自社生産

のセロリの加工新商品「有機セロリジェノベーゼ」を、今後、インターネットショッピングモールで販売することを計画中です。こうした加工品の販売促進をおこなっていくためには、社会情勢に敏感な女性目線での事業構想が必須となっており、弊社としても、新たな女性人材を確保して事業拡大を図っていききたいと考えています。

そのためには女性が働きやすいハード面の環境を整備することが必要不可欠ですが、とりわけ現在使用している女性休憩室は、社長宅の一部を改造した部屋を使っており、男性休憩所とはふすま1枚で仕切られている状況であり、トイレや流し台等の設備も男女共同であり、女性にとって十分に心身を休めることができる施設とはなっていないため、専用の女性休憩所の新設が喫緊の課題となっています。

弊社が有機農業に取り組む理念として掲げていることは、ひとや環境に優しい農業の創造と、こうした農業を広く社会にアピールし、農業の社会的役割や農業者の社会的地位の向上に貢献することです。今回の事業により女性が働きやすい環境整備をおこない、これを広くPRし十分に活用することで、農業分野において活躍できる女性従業員の雇用を促進し定着させて女性目線によるネット通販事業を展開するなど「農ガール」としての地位の確立を図るとともに、「農ガール」としての情報発信によるPRや事業拡大により、今後、多くの女性雇用につなげるなど、地域の女性雇用のモデル的な事業として展開していききたいと考えています。



2 女性就農環境改善に向けた実施体制

【実施体制】

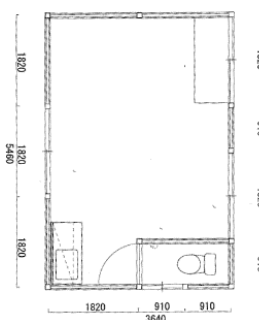
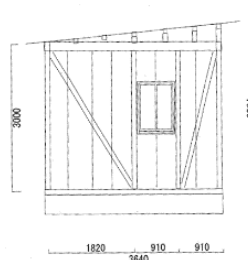
現在、弊社には従業員22人中13人の女性が働いています。この中から女性2名（社員1、パート1）を入れた計5名で新たな女性休憩室の整備に向けた事業計画チームを構成するなど、女性従業員の意見を十分に反映できる体制を整備しています。

【事業内容】

設備：専用の女性休憩所の整備（19㎡）
（和室、トイレ、キッチンを含む）

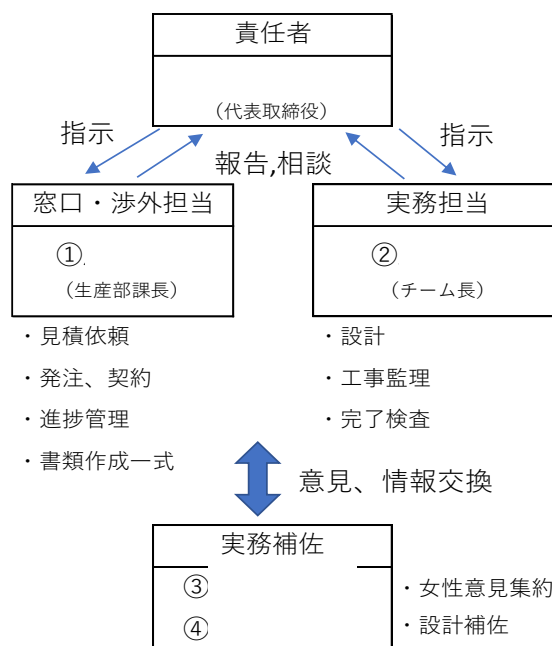
※ 設置個所は、出荷センター隣接の遊休地
（所有者は、弊社会長の鳥越和廣）

女性休憩所（設計案）



【実施主体の能力】

弊社は、地元の福岡県赤村で 1978 年から有機・無農薬農業に取り組んでいる農地所有適格法人であり、地域の生産者をはじめとした生協組合への出荷ネットワークの基礎を築いてきました。また、毎年、田植えや収穫体験イベントを、地元にある自社の田んぼで実施するなど、現在も、地域の農業を支える存在として活躍しています。また、窓口・渉外担当者は 18 年間の行政実務経験があり、実績報告等の書類作成や事業進捗管理において十分な遂行が期待でき、実務担当は 6 年間の大手ハウスメーカー勤務の実績があり、施設設計や、施工監理能力が十分に認められます。




【関係機関との連携】

本事業において実施予定の「女性休憩所の整備」をはじめ、これまで、インターネット通販事業や商品開発等において、専門家や地元の赤村役場、赤村商工会の協力や監修のもとに各種事業をおこなってきました。こうした関係機関と今後も継続して連携していく中で、本助成事業だけでなく、今後のネット通販事業をはじめとした様々な事業展開において、新たな女性人材の育成や活躍戦略などの進捗も大きく期待できます。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 就労体験の受入 ・グリーンコープ就労支援事業 (求職中の方の就労体験受入)</p> <p>2) 他社の職員向け研修生の受入 ・県や農業関係機関の新規採用職員向け研修受入</p> <p>3) 女性農業者の活躍 PR ・会社のインスタグラムで、女性が活躍している様子をアップし、農ガールの活躍を PR</p>	<p>1) 男性 12 名、女性 22 名 (令和 2 年度)</p> <p>2) 男性 2 名 (直近 10 年間)</p> <p>3) 毎週、記事を UP</p>	
<p>(今後の取組)</p> <p>1) 就労体験の受入を継続</p> <p>2) 関係機関の職員向け研修の受入を継続</p> <p>3) 女性をターゲットにした「有機セロリジェノベール」の販売体制を確立</p> <p>4) SNS による農ガール活躍中の PR 継続</p> <p>5) SNS を活用した情報発信による「鳥越農園ファン」の増加</p>	<p>1)年間 40 名 (目標)</p> <p>2)年間 1 名 (目標)</p> <p>3)インターネット販売事業体制を構築 1 サイト (目標)</p> <p>4)毎週 2 記事を UP (目標)</p> <p>5) インスタグラムフォロワー R3 年度当初 (R3.2) 600 人 →1200 人(2023 年 2 月まで)</p>	 <p>弊社 SNS 掲載の写真</p>

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 女性寮の運営 就農時に安価な家賃で住める女性寮を完備</p> <p>2) 「赤村有機まつり」への出店 村の祭りで野菜や加工品を展示販売</p> <p>3) 社員研修の実施 農業セミナーや学識経験者を招いた講習会</p>	<p>1) 女性4名利用中</p> <p>2) 年1回実施</p> <p>3) 年6回実施</p>	
<p>(今後の取組)</p> <p>1) 女性寮の運営継続</p> <p>2) 「赤村有機まつり」への出店継続</p> <p>3) 社員研修の実施継続</p> <p>4) 機械操作免許取得支援 トラクター免許取得など、女性社員が活躍できるための支援</p>	<p>1) 新規利用者3名(目標)</p> <p>2) 年1回(目標)</p> <p>3) 年6回(目標)</p> <p>4) 年1名(目標)</p>	

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 販路拡大のためのマルシェ・出店イベント参加 福岡県庁ロビー、福岡銀行本店ロビー、KBC本店ロビー等でのマルシェ販売 福岡市近郊のデパート等</p>	<p>1) 年4回</p>	
<p>(今後の取組)</p> <p>1) 販路拡大のためのマルシェ参加継続</p> <p>2) 女性目線での自社商品販売 自社栽培の有機セロリを使った「有機ジェノベーゼ」を開発し、現在実現できていないインターネットモールでの販売体制を構築する。</p>	<p>1) 年5回(目標)</p> <p>2) 令和4年度までに実施(目標)</p>	

4 女性就農環境改善事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
(補助金交付決定後)	○女性専用休憩所(和室、トイレ、キッチン)の設置	女性休憩室（トイレ、キッチン含む）利用者 ※R4.4.30 現在
2022年5月	新たな休憩所に対する女性意見の集約 (対象者) 全女性従業員 12名 (方法) アンケート調査	
2022年8月	設計（集約した意見を反映した設計） (方法) 和室、トイレ、キッチン等を備えた休憩室の設計をおこなう	
2022年10月	設計案の調整・完成 (方法) 設計案に対する女性従業員の意見を聴取し必要な設計の修正をおこなう。	
2022年11月	休憩所の工事着手 (方法) 工事発注関係 施工監理関係	
2023年2月	休憩所の工事完了 エアコン等の付属備品設置	
2023年3月	休憩所の運用開始	

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	6人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 人、雇用就農者4人、アルバイト・ボランティア等2人	